

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第094号(通算)

令和5年3月10日(金)発行

明日は、東日本大震災(2011年3月11日)から12年をむかえます。地震の規模マグニチュード9.0は、国内観測史上最大規模の地震であり、1900年以降の記録において、世界でも4番目の規模でした。私も、このとき長男が大学受験で東京に居た時の地震だったので、本人と連絡が取れるまで、心配が尽きませんでした。よく『天災は忘れた頃にやってくる』といいます。文明が進むにつれて、自然災害の被害は増大するという。28年前の1995年1月17日にも阪神・淡路大震災が発生しています。最近、天気予報などの予報精度は向上しているといいますが、自然災害は無くなりません。いざというとき、どの様に行動すればよいのかを考えておくことが大切です。

にっぽんのいろ 3月のいろ

花葉色 (はなばいろ)

明るくマイルドな黄色の中に、ほんのりと青みがうかがえます。経(たて)系と緯(よこ)系の色を変えて織る「織り色」の名前でもあり、経系に黄色、緯系に山吹色を使っています。うらかな春の日差しのような温かさがあります。



若芽色 (わかめいろ)

早春に顔を出したばかりの若い芽のような黄緑色です。似た色の中でも極端に色みが薄く、初々しさが特徴的です。「若さ」と「芽」を掛け合わせた色は心を華やがせてくれるようで、新しい命が芽生える季節にぴったりの色ですね。



洗朱 (あらいしゆ)

清らかで深い朱色が魅力的です。明治時代後期、日本文化を大切にしようとする意識の高まりとともに誕生した色です。絵具として使う際、澄んだ朱を生み出すために繰り返す作業「朱を洗う」が色名の語源とされています。



※「にっぽんのいろ」は、日本の季節を楽しむ暮らし「暦生活よみせいかつ」のWebページの記事を引用して紹介しています。

第75回卒業式

2月28日(火)

霜が降りる寒い朝でしたが、澄み渡る晴天のなか第75回卒業式が執り行われました。卒業する57名の皆さんからは堂々とした風格が感じられました。新型コロナの影響を受け続けた3年間でしたが、立派に大輪の花を咲かせてくれました。



書道部製作の大きな卒業証書



美術・書道選択者の作品(3年生)



アレックス先生と!!

かわなべ軒先市2023

3月5日(日)



穏やかな日射しが暑いくらいに感じるなか、軒先市が開催されました。今回も沢山の本校生徒の皆さんがボランティア等で参加していました。午前中に行われた「石段駆け上がり走」では、バスケットボール部2年生の東峯大和

さんと宿里優斗さんが1・2位になるなど、好成績をあげました。

また、午後から光徳寺境内で、書道部による書道パフォーマンスも行われました。素晴らしい作品が完成し、アバウト前に展示中です。

